



2016~17 年度国際ロータリーテーマ
 「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY
 RI 会長 ジョンF. ジャーム
 2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ
 「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2429 号 平成 28 年 9 月 3 日 (土)

前例会の記録・第 2428 回 9 月 2 日(金)12:30

ガバナー公式訪問 3 クラブ合同例会

国際ロータリー第 2630 地区 ガバナー 劔田廣喜様

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆美濃ロータリークラブ会長挨拶 西村進様



皆様こんにちは。本日は2630地区ガバナー劔田廣喜様をお迎えして、ガバナー公式訪問関クラブ、関中央クラブ、美濃クラブの3クラブ合同例会を開催されるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。劔田ガバナーにはお大変忙しい日々をお過ごしのことと思います。本日は高山の地より美濃へおいで頂き有難うございます。ご指導をよろしくお願い致します。本年度の劔田ガバナーの活動方針テーマは「最も出席するもの 最も報いられる」とのことで、90歳以上の会員が美濃クラブ1名、30年以上100%出席の会員が美濃クラブ1名、関クラブが2名、関中央クラブが2名おられます。後程ガバナーから表彰されます。敬意を表するとともに心からお祝いを申し上げます。また、出席率を「会長支持率」として発表することととてもプレッシャーを感じていますが、自分ではどうすることもできません。数字を真摯に受け止め今後の活動に生かしたいと思っております。美濃市は一昨年本美濃紙がユネスコ無形文化遺産に登録されました。昨年度美濃ロータリークラブ60周年事業として「手すき和紙古田行三郎」に記念碑を贈呈しました。また、今年には「曾代用水」が灌漑遺産に、「長良川のあゆ」が農業遺産に登録されました。「曾代用水」と「長良川のあゆ」は美濃市と関市に共通の登録となっています。ロータリークラブも美濃、関、関中央の3クラブが協力し、またお互いに切磋琢磨し益々発展することを願って私の挨拶とします。本日は宜しく申し上げます。

皆様こんにちは。本日は2630地区ガバナー劔田廣喜様をお迎えして、ガバナー公式訪問関クラブ、関中央クラブ、美濃クラブの3クラブ合同例会を開催されるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。劔田ガバナーにはお大変忙しい日々をお過ごしのことと思います。本日は高山の地より美濃へおいで頂き有難うございます。ご指導をよろしくお願い致します。本年度の劔田ガバナーの活動方針テーマは「最も出席するもの 最も報いられる」とのことで、90歳以上の会員が美濃クラブ1名、30年以上100%出席の会員が美濃クラブ1名、関クラブが2名、関中央クラブが2名おられます。後程ガバナーから表彰されます。敬意を表するとともに心からお祝いを申し上げます。また、出席率を「会長支持率」として発表することととてもプレッシャーを感じていますが、自分ではどうすることもできません。数字を真摯に受け止め今後の活動に生かしたいと思っております。美濃市は一昨年本美濃紙がユネスコ無形文化遺産に登録されました。昨年度美濃ロータリークラブ60周年事業として「手すき和紙古田行三郎」に記念碑を贈呈しました。また、今年には「曾代用水」が灌漑遺産に、「長良川のあゆ」が農業遺産に登録されました。「曾代用水」と「長良川のあゆ」は美濃市と関市に共通の登録となっています。ロータリークラブも美濃、関、関中央の3クラブが協力し、またお互いに切磋琢磨し益々発展することを願って私の挨拶とします。本日は宜しく申し上げます。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 西本理美

会員 47 名中 出席 24 名 会長支持率 53.34%

◎ニコボックス委員会 委員 大岩寿喜子

出席者全員・・・国際ロータリー第2630地区ガバナー 劔田廣喜様、地区幹事 清水幸平様、東海北陸道グループ ガバナー補佐 横山隆一郎様、お忙しい中、3クラブ合同例会にお越しいただきましてありがとうございます。よろしくご指導ください。また、合同例会ホストの美濃ロータリークラブ様大変お世話になりますがどうかよろしくお願い申し上げます。



◆30年以上皆出席表彰 山村誠示さん

先程はガバナー直々に表彰状を賜りましたこと誠に感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度は38年の皆出席ということになりますが、皆出席できたのは、健康もさることながら、やはり周囲の皆様のおかげと感謝いたしております。その一つとしましては私がロータリーに入会した時に、スポンサーが自分にも厳しく人にも厳しい姿勢の方でして、その教訓を受けまして「ロ

一タリーは、例会に出席することが原点である。もし欠席したら必ずメイクアップして100%にしないよ。」と。「でもそれは難しいことではないよ。」と言われました。私も今日になってみると難しくなかったかなと思います。やはり、習慣がつけば反復的に行動が自然にできるわけですので、良いことも悪いことも習慣次第だなと思います。ロータリークラブはメイクアップという素晴らしい制度があります。ロータリーの出席を100%にできるということもメイクアップのおかげですが、それよりも世界で通用する人と一緒に肩を並べて同じ待遇で例会に出席できるということが素晴らしいと思います。先般も大阪でのメイクアップで、例会に出席させていただいた時、私が25年ぐらい前に懇意にしていた方と突然お会いすることができましたこともメイクアップのおかげだなと思います。東京のメイクアップでも大変元気づけられました。私は関RCで一番の年長者ですが、私よりさらに年配の方がたくさんいらっしゃって元気はつらつとしていらっしゃる。親しくお話しさせていただいたら、誘いを受けまして、一回ご一緒しましょうと、さすがロータリアンだと感じました。出席というものは決して忙しいからできるとかできないというものではないという事だけは事実と証明しておりますので一つ参考にしていただきたいと思います。それぞれのクラブの益々のご発展と皆様のご多幸を心からお祈り申し上げましてあいさつとさせていただきます。

◆35歳以下の会員表彰 掛布真代さん



◆国際ロータリー第2630地区 ガバナー 剣田廣喜様



今年度第2630地区ガバナーを務めます剣田でございます。所属は高山中央RCです。皆様とともにロータリー活動をできることを大変光栄に存じております。どうか、ご支援、ご協力のほ

どよろしくお祈り申し上げます。2016年度規定審議会で大きな変更があり、それによってクラブが混乱していると聞きます。今回の規定審議会変更のバッポーンは、現

在、国際ロータリーによると、ロータリー会員の70%以上が50歳以上であり、30歳未満が世界人口の約半分を占める今日の世界と大きくかけ離れています。会員増強のカギの一つは、例会に関する厳しい規則を和らげ、若い世代とデジタル志向の人びとのニーズに応えること。若い世代の参加を促すには「時代に即す」ことが何よりも重要という考えに方にそった若い世代へのプロモーション、リクルートであると思います。2016年度規定審議会の変更をひとりで云えば、クラブに柔軟性を持たせること即ち、今までは、決まったことを「頼り」にしていれば済んだところが、これからは、クラブの在り方全てがクラブにその自由と、責任が課せられたとも云えます。クラブが自主性をもって進むべき方向を決定しなければならぬと云うことです。つまり発展するも沈滞するも、クラブ次第になったのです。また見方を変えれば、日本の伝統的なロータリー文化を順守しようと考えれば、今まで以上にその理念を明確に打ち出すことも可能であると考えられます。いずれにせよ、RIの示す方向に進んでも良し、伝統を守っても良し、多様性が認められ、クラブは二極分化が進むでしょう。これからは、クラブが選ばれる時代となります。それでは、クラブの方向性を示すものはなにか？云うまでもなくクラブ細則です。細則の中で、独自性即ち所在地域における存在意義を示すことができないクラブいずれの方向性も示すことができないまま途中半端なクラブ、クラブ細則で管理運営できないクラブが衰退するであろうことは断言できます。(服部芳樹 PDG 2016~17~18年ロータリークラブ細則原案解説参照)クラブの自主性についてロータリーの4代目会長フランク・マルホランドは「1番大切な事は各RCの自主性である。ロータリー運動は各RCによって支えられ、RCが主体的に物事を考える為には、1人1人のロータリアンの質が問われるのだ」と力説いたしました。最近ではロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、わかり難いと思われまので、ロータリーに経験の深いベテランロータリアンによる簡便な説明が伴わないと、ロータリーが何であるかわからないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。単に定款・細則やロータリー用語の開設に終始することなく、会員自身がロータリーに興味をもち、自らがもっとロータリーを知ろうとする、そして一人でも多くの会員にロータリーが好きになるきっかけを与えることが大切ではないでしょうか。こうしてロータリーを知ることにより、ロータリーに情熱を燃やすようになり、意欲的なロータリアンになるものと思われま。今回の変更で見えてきたものがあります。それは、RIの変質であります。これまで、国際ロータリーは3年ごとの規定審議会を経るごとに、雪崩を打つかのように変貌し、今や国際ロータリーはロータリー財団頼みの組織に変質しました。国際ロータリーは人道的世界社会奉仕事業を看板とする組織なのです。国際ロータリーは、もう例会なんかやってもやらなくてもいいのです。ロータリーの奉仕の理念の研鑽、解明もどうでもいいのです。すべてクラブ、ロータ

リアンにまるなげです。つまり、直接監督権の放棄であり国際ロータリーの終焉の始まりです。ロータリー財団の国際ロータリーに変質してしまいました。今年度 RI 会長テーマは人類奉仕するロータリーです。そしてロータリー全体の目標は戦略計画の実践です。戦略計画の3つの優先項目は<クラブのサポートと強化><人道的奉仕の強化><公共イメージと認知度の向上>でしたが2014年10月④財政的継続性と運用有効性の向上です。これは、まさしく財団支援を意味しております。更にロータリー財団も優先事項として①ポリオ撲滅②財団の寄付推進③世界の6つの重点項目に特化した活動、財団の奉仕活動の質と影響力の向上④財団のこれまでの成果の強調を骨子としたものであります。ジョン・ジャーム RI 会長の今年度版戦略計画は、RI の戦略計画のそれぞれの優先項目の中にこの4つの財団の優先項目を組み入れたものであります。RI と財団の融和どころか財団が RI のすべてであり、財団の RI になってしまったのです。ファイナルインチを迎えたポリオ撲滅に続いて RI が未来を託す巨大プログラムは世界平和に関するものでしょう。ノーベル平和賞まで視野に入れた徹底した成果主義によって RI のブランド、アイデンティティーの確立を目指したのです。これが財団 100 年の歴史が指し示す RI の方向性です。この様に国際ロータリーは、人道的世界社会奉仕に向かって突き進んでいきます。私は人道奉仕が悪いと言っているのではありません。ロータリアンは常に弱者に涙する心を失ってはなりません。財団の寄付、人道奉仕はできる限りしなければなりません。ただ、それはロータリアンが例会で奉仕の心を身に着けたことの反射的効果にすぎないのですから、あくまでも、ロータリーの心を磨き職業奉仕の専心によって自分の職業を安泰にしてからということです。今や例会やクラブ委員会活動における人間形成への努力が忘れ去られ、寄付額や単なる社会奉仕活動の実績だけでロータリークラブやロータリアンが評価されることに重点が置かれ、その見返りにロータリーが失ったものはロータリー精神性、ロータリーの心であります。私の、公式訪問の卓話で皆さんが反応、賛同するのはこのロータリーの心のところです。それは、近年のロータリーは金集め、人集めの色彩が濃いからではないでしょうか？ロータリアンの多くが最近のロータリーは少しおかしいと考えていたからではないでしょうか？ここで、ロータリーの心を説明させていただきます。(ロータリーのこころ) 私達はこれまで(ロータリー)をあまりにも難しく考え、語ってきたのではないかと思います。ロータリーという組織は決して複雑で難解なものであってはならないし、そうなるものでもありません。なぜならばロータリーの理念は古くから人間が大切にしてきた道徳、つまり中国で古くから使われる仏教用語の寛恕(広い心で許す)(わたしは、思いやりの心、助け合いの心と言っております)。ですから、ロータリーが訴えかけている奉仕の理念は時代を超えて変えてはならないロータリーの心と呼びなおしてもいいと思います。ここで、ロータリーのこころとは何かを解りやすく話させていただきます。「昔、インドに相思相愛の王様夫婦がおり

ました。ある日王様が最愛の奥様に、『よく考えてみると、私は、最愛のお前より、私自身が一番愛しいように思う。』といわれました。それに対して奥様も、『実は、私も、貴方より私自身の方が一番愛しいと思います。』と答えられました。王様は『皆が皆、自分自身が一番可愛いと思ったら、この世の中は成り立たないから、お釈迦様に聞いてみよう。』と云って二人でお釈迦様を尋ねたそうです。お釈迦様は、二人の話聞いて『人間は誰でも皆、自分自身が一番可愛いのです。それでいいのです。ただ、相手も、自分自身が一番可愛いと思っていることを忘れないように。』とお諭しになられました。」ここに相手に対する思いやりの心が生まれるのです。自分以外の人に対する愛が始まるのであります。世の中の人皆、このような心、「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」という心を持って初めてこの世の中が成り立つのであります。自分自身を愛することが出来て初めて人を愛することが出来るのです。そして世の中の人々を考へることが出来るのであります。これがとりもなおさず「ロータリーの心」であります。ここで職業奉仕の説明をします。職業奉仕は儲けたいという内向きのエネルギーとお客に役立ちたいという外向きのエネルギーの調和です。これは寛容なくしては果たせません。この相反するエネルギー中心に、ロータリーの心(相手に対する思いやりの心)を置くことが職業奉仕であります。またこれが巡り巡って自らの利益へ帰ってくるという因縁果律(世の中の成り立ちは、善悪で構成されているのではなく、あくまで前世因縁なのである)です。地球上でボールを投げあげたら、やがて地上に落ちてくることに似て、覆すことのできない自然の法則なのです。だからこそ永続きしているのです。(ロータリーの変貌) 奉仕の第1世紀を終え、国際ロータリーはロータリアンに「ロータリーの心」を浸透させ、ひいては世間の人に高潔性を以ってなるロータリーとして認知してもらうという初期の目的を達成することに失敗しました。「ロータリーの心」は世間で認知されないばかりか、ロータリアン自身の職業上の不正も相次いでいます。ロータリーの存在すら世間に認知されていないありさまです。アインシュタインは語りました。「同じことを繰り返しながら、違う結果を期待することは、狂気である」と。かくして RI は従来の手法を変えて出してきたのが、「戦略計画」、財団の「夢計画」に他ならないのです。「戦略計画」それを支える「夢計画」で訴えていることは、「人道的奉仕活動の重点化と増加」であります。そのための財政的支援、それを可能にする会員増強、それを促進する公共イメージ、認知度の向上を目指したのです。ところが「人道的奉仕」が「職業奉仕」を凌駕してしまったのです。この変貌が行く末を不安にしている現在の様子です。このように、ロータリーから基本的理念が失われ、例会、職業奉仕は形骸化し、ロータリーの形骸化となり、安易なボランティア団体に移行してしまう事を絶対く止めなければなりません。それは、誇り高き日本のロータリー文化を受け継いで、例会、職業奉仕を大切にしたい人づくりのロータリーの構築です。ロータリーはこれまで、産みの苦しみと、変貌

に伴う波紋の中で哲学を構築してきました。愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶと申します。日本のロータリーの歴史を学ぶことによりロータリーの正しい姿を認識し、クラブの方向性を決めることが出来ると思います。わたしは、日本のロータリーの歴史とは？例会出席の歴史と言っても良いと思います。第2次世界大戦中、アメリカのスパイ、秘密結社と言われ、日本のロータリーは大変な弾圧を受けます。京都 RC へ右翼団体が押し掛けロータリー解散を迫ります。その対応にあたった石川芳次郎会長は「ロータリーは職業人の集まりであって毎週例会において、世のため、人のための心を磨きその心を持って世のため、人のために奉仕をしている団体であります。したがって、忠国愛国、即ち天皇陛下の御為に奉仕活動をしている。」と説明したが聞き入れられず、最終的には「例会で日の丸を掲揚し、君が代を歌うこと」で話し合いがつかしました。京都クラブはさっそくこのことを日本中のロータリークラブに連絡し、以後、日本のすべてのロータリークラブは日の丸を掲揚し、君が代を歌うことになりました。このことは現在にまで継続されています。ロータリーに対するいやがらせや弾圧は増々露骨になってきて、ロータリーは RI 脱会を余儀なくされました。しかし日本のロータリアンは「奉仕の理想」の精神を守り、名を変え、姿を変えて隠れキリシタンの様に例会を続けてきました。37 あったロータリークラブのうち 17 クラブ (46 パーセント) が空白の 9 年間の最後まで、例会を一度も休むことなく運営しきったのです。(内 15 クラブが毎週例会を開いていたのです)。なぜここまでして、例会を大事にしてきたのか、それは、日本のロータリーの創始米山梅吉翁の言われた例会は人生道場という言葉を中心としていたからです。戦前のロータリアンはみんなこれを信奉し、例会をロータリークラブの中核にどっしりと据えていました。例会の途中で退席するなど、考えもしないことでした。中途退席が目立つようになったのは、戦後の 1960~61 年 (昭和 35~36) ごろではないかといわれています。こうして私たちの先輩達が命の危険も省みず守ってきた誇り高き日本のロータリー文化を細則に反映することが、私たちの使命であると考えます。誇り高き日本のロータリー文化は、ロータリークラブの自治権(細則)でしか守れないと言う事をご理解いただきたいと思います。我が国はこれまで、大化の改新によって中国文化の日本化に成功しましたし、明治維新によって西洋文化の日本化にも成功しました。アメリカ生まれのロータリーにも日本化の努力が払われました。ここに東西の温度差を生む土壌があります。また、国民性の違いもあります。合理性、効率性、論理性、数理性を重視し、自己主張により互いの違いを認識した上で始まる人間関係を基本とする西洋の国民性と、仁、義を重んじ (人間の間柄の美学)(情緒的人間関係)を大切に、自己主張をできるだけ控えて人間関係の基本に(惻隱の情)をおくわが国の国民性とは確かに温度差があります。私はそれぞれの国民性の精神的基盤は、(キリスト教)と (武士道) の違いではないかと思ひます。いまイチロー選手の 3000 本安打が話題になっていますが、ベースボー

ルと言えはかつて地球の裏側に別のベースボールがあると日本の野球は揶揄されたものです。しかし今は日本人選手の活躍で日本の野球は見直されていますが、ルールは同じでも試合の進め方が異なるからです。ロータリーも国際ロータリーの定款、細則は共有していてもクラブ運営、目的が違っていいのです。現在、国際ロータリーが変質し、ロータリーの、100 年続いた伝統を、どんどん変えようとしている、と危機感を持っています。日本のロータリアンは、きちんと勉強し、ロータリーを学び、自主性をもつ必要があります。そして、何事にもロータリーの心を持ってあたると言う事です。今混迷の度が深い日本の社会でロータリーの心はもっとも必要な心ではないでしょうか。

(「続ロータリーを語ろう」・「新ロータリーを語ろう」RID2680 久野薫パストガバナー著参照)



◆9月のゴルフ会

日時：9月7日(水) 場所：岐阜関カントリー倶楽部



優勝：高木登企久さん

次例会のご案内 9月13日(火) 12:30

「関市の水道事情について」

会員卓話 加藤浩二さん

担当：クラブ奉仕委員会

 例会：毎週火曜日 12:30
 例会場：岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店2F
 事務局：岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F